

5. 他の昆虫類・クモ類・植物の緊急防除の検討

5-1. 国道 332 号線沿いにおけるトビイロケアリ（国内外来種）の再調査

(1) 発見の経緯

昨年度の春季調査において、国道 332 号線沿いでトビイロケアリが確認された（令和 2(2020)年 6 月 13 日）。その後、トビイロケアリは国内外来種であり防除を行う必要があると、専門家の方々から助言を受けた。秋季調査時（令和 2(2020)年 11 月 9 日）に再度詳細に確認し、トビイロケアリの確認場所（街路樹(ヤシ)）が特定された（図 5-1.1~4）。

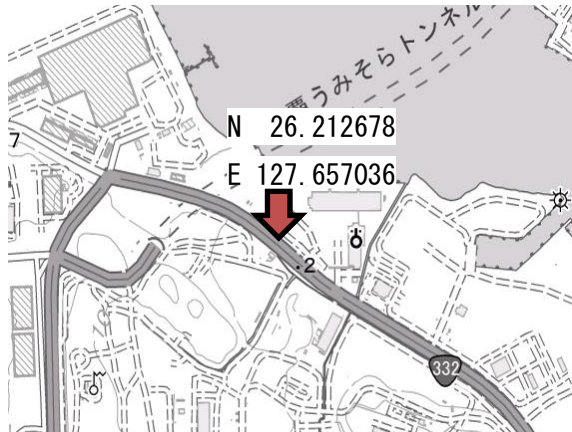


図 5-1.1 発見位置地図



図 5-1.2 発見場所の様子



図 5-1.3 確認したトビイロケアリ（その 1）



図 5-1.4 確認したトビイロケアリ（その 2）

トビイロケアリとは

「体長 2.5~3.5 mm。全体的に黒褐色の種で、胸部は頭部や腹部に比べて多少淡色の場合が多い。草地から林内にかけて最も普通に見られる。また平野部から山地にかけて見られ、本州中部では標高 2,000 m 以上の山岳部まで分布している。沖縄本島（那覇市）から記録されているが、人為的移入と思われる。巣は土中や朽ち木中に作られる。結婚飛行は 7~8 月に行われる。」

出典：日本産アリ類画像データベース <http://ant.miyakyo-u.ac.jp/J/Taxo/F80603.html>

(2) 今年度の状況確認

令和3(2021)年5月14日に現在のトビイロケアリの生息状況について、昨年度確認した付近のルート1及び昨年度確認した地点調査(No. 1)、加えて反対側の道路沿い(ルート2)を調べた(図5-1.5)。その結果、どの地点でもトビイロケアリの生息は確認されなかった。昨年度調査結果と合わせ、各調査地点で確認した種類を表5-1.1に示す。

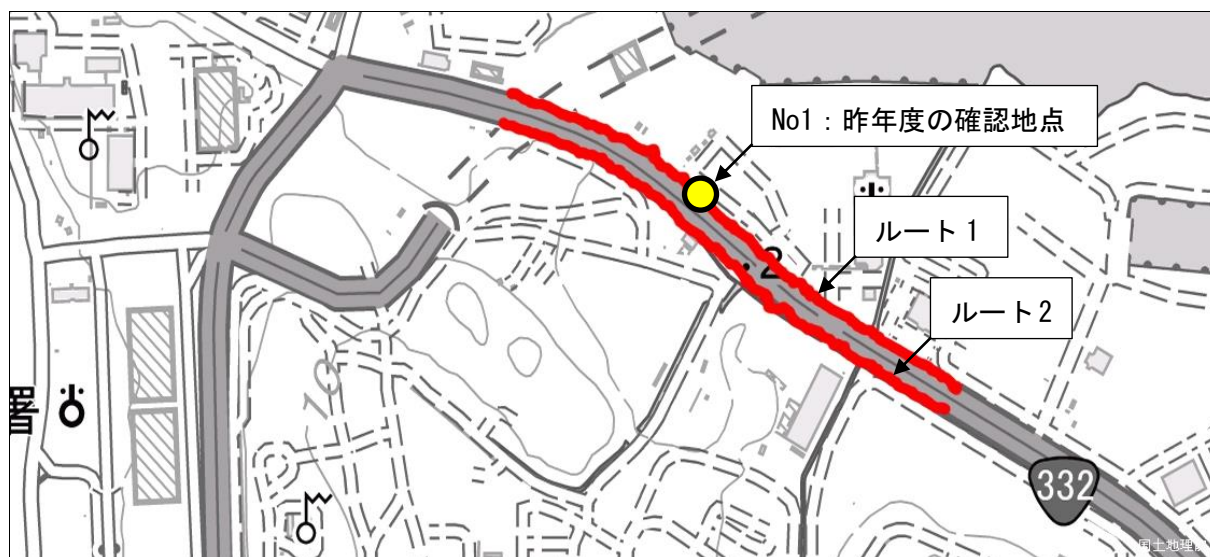


図5-1.5 調査位置(令和3年5月)

表5-1.1 トビイロケアリ発見地点周辺でのアリ相の過年度との比較

No	和名	2020/6/13	2020/11/19	2021/5/14		
				No1	ルート1	ルート2
1	コヌカアリ属の一種	○	○	○	○	○
2	アシナガキアリ	○	○		○	○
3	ホソウメマツオオアリ	○				
4	トビイロケアリ	○	※			
5	ケブカアメイロアリ				○	
6	リュウキュウアメイロアリ	○	○	○		○
7	ヒゲナガアメイロアリ	○	○			○
8	ヒメハダカアリ	○		○	○	
9	トゲハダカアリ				○	
10	クボミシリアゲアリ					○
11	アカヒラスオオアリ					○
12	クロヒメアリ	○	○	○	○	○
13	ツヤオオズアリ	○	○	○	○	
14	ナンヨウテンコクオオズアリ		○		○	○
15	オオシワアリ	○	○		○	
16	イカリゲシワアリ		○			
17	カドムネシワアリ	○			○	
		11	9	5	10	8

※吸引法では採集されなかったものの、その後詳細に確認することで図5-1.1の位置で確認した。